

申し込み要項

受付開始 **7月1日(水)** ▶▶▶ 締め切り **9月4日(金)**

※自治労連組合員の方は申込方法が異なりますのでご注意ください



申込方法

①住民の方など自治労連組合員以外の方

下記の申込書に必要事項を記入のうえ、メールまたはFAXにて事務局(自治労連)まで申し込んでください。

②自治労連組合員の方

所属する労働組合、または、自治労連の都道府県組織(県本部)、県事務局に申し込んでください。

参加費

- 住民の方など(自治体職員・議員・自治労連組合員を除く)
 - 2日間参加 **3,000円** 1日のみ参加 **1,500円**
- 自治体職員、議員、自治労連組合員
 - 2日間参加 **6,000円** 1日のみ参加 **3,000円**

注:分科会運営委員、要請レポート報告者、障害者の介助者、集会要員は参加費不要です。

保育室

10月3日(1日目)、4日(2日目)の両日、就学前の子どもに限り保育室を設けます。1日利用・2日間利用に関わらず保育利用料(保険料等)1,000円/人です。ご希望の方は、事務局(自治労連)までお申し込みください。

注:おやつおよび4日(2日目)のお弁当は各自持参してください。

申込先 メール info@jichiroren.jp または FAX 03-5978-3588 まで

注意事項

- 宿泊の斡旋はしていません。各自で手配をお願いします。早期確保をおすすめします。
- 全体会(1日目)、分科会(2日目)とも、会場での参加となります。※集会当日、オンラインでのライブ配信の予定はありません。
- 集会の最新情報および自然災害の発生等に伴う対応については、地方自治研究全国集会、および自治労連のホームページにてお知らせいたします。
- 10月3日の全体会および4日の第6分科会「障害者・高齢者の暮らしの場と権利保障」に限り、報告・発言について手話通訳の対応を行います。
- 10月4日(2日目)の弁当(1,000円・お茶付き)を販売します。必要な方は下記申込書でお申し込みください。弁当の申し込みキャンセルは9月25日正午までです。それ以降はキャンセルできません。※弁当代は5月現在の価格です。
- 住民の方など自治労連組合員以外の方の参加費および弁当代は、当日会場受付にて現金でお支払いください。

お問合せ

自治労連本部 憲法政策局

〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7
TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588
メール/info@jichiroren.jp

お問合せ
対応時間
平日9時30分
～17時30分

第18回地方自治研究全国集会申込書

フリガナ	都道府県		所属団体・職場・職業等	
名前				
参加形態 (何れかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 1 一般参加 <input type="checkbox"/> 2 分科会運営委員 <input type="checkbox"/> 3 要請レポート報告者 <small>(レポートを自主的に持ち込む場合は、1にチェック✓をしてください)</small> <input type="checkbox"/> 4 集会要員 <input type="checkbox"/> 5 障害介助者 <small>※2～5の方は参加費不要です。</small>			
連絡先	住所 (自宅・職場)	〒()		※職場の場合は、職場名を記入してください
	電話番号	- - (自宅・職場・携帯)		
	Eメールアドレス	@		
参加する日および分科会等 (参加する日に✓印を)	<input type="checkbox"/> 10月3日(土) 全体会 <input type="checkbox"/> 両日 <input type="checkbox"/> 10月4日(日) 分科会・講座		参加する分科会番号講座	レポート持ち込み (集会冊子に掲載されない自主的なレポートの持ち込み)
弁当 (10月4日) (どちらかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 <small>※弁当の提供にあたりアレルギー対応はできません。 ※現地分科会参加者は不要です。</small>		保育室の利用	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 保育室利用日(該当する日に✓印を) <input type="checkbox"/> 10月3日(土) 全体会 <input type="checkbox"/> 10月4日(日) 分科会 <input type="checkbox"/> 両日 (子どもの年齢 歳)
参加費 (何れかに✓印を)	住民の方など(自治体職員・議員・自治労連組合員を除く) <input type="checkbox"/> 2日間 3,000円 <input type="checkbox"/> 1日 1,500円 <input type="checkbox"/> 不要※ <small>※自治体職員、議員、自治労連組合員は右欄にて✓印をお願いします。 ※参加形態2～5の方は参加費不要です。</small>		自治体職員、議員、自治労連組合員	<input type="checkbox"/> 2日間 6,000円 <input type="checkbox"/> 1日 3,000円 <input type="checkbox"/> 不要※ <small>※自治労連組合員の方は、所属する労働組合、または、自治労連の地方組織(県本部)、県事務局へご連絡ください。 ※参加形態2～5の方は参加費不要です。</small>

※現地分科会は、定員制(先着順)です。
※保育(就学前)は、自治労連までお電話(企画財政局03-5978-3580)でお申し込みください。

個人情報保護法に基づき、この申込内容を目的外に使用することは一切ありません。

第18回

地方自治研究全国集会 in 広島



語り合う! いかそう! 憲法と地方自治
— 共同の力で取りもどそう平和・人権・公共 —

「被爆電車」が被爆の実相を伝える「もの言わぬ証人」として現在も運行しています。写真の651号も爆心地近くで被爆し大きな被害を受けましたが、1946年3月には復帰を果たし、戦後の復興を支え、いまも走り続けています。



イメージキャラクター「もみじっちゃん」

1日目 **10月3日(土) 全体会** ■12:00 開場 ■12:45 開会～17:00

会場 JMSアステールプラザ 大ホール

記念講演

日本国憲法の力を実感する

— 私たちの生活と小さな幸せを守るツール —



講師 清末 愛砂さん(室蘭工業大学大学院教授・憲法学)

【プロフィール】全世界の人々の「平和的生存権」の視点から、パレスチナやアフガニスタンで連帯活動を実施。イスラエルによるパレスチナへの攻撃が激化するなか、各地の憲法集会などで講演やアピールを行う。著書に『「世界」がここを忘れても—アフガン女性・ファルザーナの物語』(文・清末愛砂、絵・久保田桂子 寿郎社)、「北海道で考える(平和)—歴史的視点から現代と未来を探る」(共編著 法律文化社)など。

■ 歓迎行事 広島ジュニアマリンパアンサンプル ■ 特別報告 広島県原爆被害者団体協議会

■ 基調フォーラム 平和、人権、公共を取りもどすために、共同の運動を展望する(仮)

■ 記念講演 ■ 青年企画(自治労連主催) 会場: JMSアステールプラザ 市民ギャラリー 17:30開会～19:30

2日目 **10月4日(日) 分科会・講座** ■9:00 開場 ■9:30 開会～15:30

会場 分科会・講座: JMSアステールプラザ、広島市文化交流会館、広島国際会議場

現地分科会: ①軍都廣島の「加害」と「被害」の歴史を学ぶ

②「広島市豪雨災害伝承館」(安佐南区)の見学、災害跡地、砂防ダムの現場で学習

【主催】 第18回地方自治研究全国集会in広島共同実行委員会

自治体問題研究所、日本科学者会議、公害・地球環境問題懇談会、原発問題住民運動全国連絡センター、全国商工団体連合会、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合会、全国生活と健康を守る会連合会、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、全国保育団体連絡会、(公財)日本医療総合研究所、農民運動全国連合会、全国地域人権運動総連合、日本婦人団体連合会、日本母親大会連絡会、日本母親大会連絡会、新日本婦人の会、全国借地借家人組合連合会、新建築家技術者集団、自由法曹団、民主教育研究所、日本自治体労働組合総連合、広島県実行委員会(順不同)

【賛同団体】 全国労働組合総連合、中央社会保障推進協議会、日本平和委員会、消防職員ネットワーク(順不同)

【後援】 熊野町、中国新聞社、広島エフエム放送(順不同)

【事務局】 日本自治体労働組合総連合(略称 自治労連) 〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 自治労連会館 TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588
E-mail/info@jichiroren.jp 【自治労連】 <https://www.jichiroren.jp/> 【地方自治研究全国集会】 <https://jichiken.com/>



1 地場産業、中小業者と農林漁業の振興で、住民が輝く自治体に

令和の米騒動からも明らかになった農業の危機は社会全体の問題です。農林漁業と中小企業振興条例を生かした産業振興、地域づくりに果たす自治体の役割について考えます。

助言者 岡田 知弘(京都橋大学学長)

●第1分科会(広島国際会議場)

6 障害者・高齢者の暮らしの場と権利保障 手話通訳対応

在宅高齢者を支えるヘルパー事業所が倒産し、障害者のグループホームは営利企業の参入で質の低下が問題視される中、高齢者・障害者の暮らしの場から権利保障を考えましょう。

助言者 田中 智子(佛教大学社会福祉学部教授)

●第6分科会(広島国際会議場)

11 地域をつなぐ「コミュカ」を磨こう！
—住民を真ん中に自治を育む

合併で広がった自治体と住民との距離、いま議論されている市町村事務の都道府県移管、地方自治の「担い手」の「コミュカ」は十分なのか？それぞれの実践に学び交流します。

助言者 関 耕平(島根大学法文学部教授)

●第11分科会(広島国際会議場)

講座 初心者でもわかる自治体の財政

自治体財政とは何でしょうか。私たちの税金を誰が決めて、どのように使われているか、決算カードを用い自治体の予算や決算の仕組みについて学んでいきます。

講師 平岡 和久(立命館大名誉教授)

●講座(JMSアステールプラザ)

2 防災行政の役割と自助・共助の限界

地震や豪雨、山林火災などの大規模災害から住民の命と暮らしを守るため、防災行政、消防団、自主防災組織の役割と課題を住民主体の視点で考える。

助言者 三木 敦朗(日本科学者会議/信州大学農学部助教)

●第2分科会(広島市文化交流会館)

7 新たな地域医療構想は住民のいのちと暮らしに何をもたらすのか

コロナ危機によって医療提供体制の脆弱性と公衆衛生縮小による健康危機の実態が浮き彫りになりました。新たな地域医療構想が住民のいのちと暮らしに何をもたらすのかを明らかにし、今後の医療・介護・公衆衛生のあり方を考えます。

助言者 井口 克郎(神戸大学国際人間科学部准教授)

●第7分科会(広島国際会議場)

12 自治体DXの現在地と課題
—現場の実態と今後の方向性

標準化・ガバクラ・AI・マイナの導入で、住民福祉は向上し業務は効率化されたのか。現場の負担増、コスト膨張、サービス変質の実態を直視し、自治体デジタル化の構造的課題を明らかにします。

助言者 本多 滝夫(龍谷大学法学部教授)

●第12分科会(広島国際会議場)

3 高市内閣で暴走する原発推進と増大していく国民の負担

自民党が衆議院選挙で圧勝し、日本の原発政策は今まで以上に暴走しています。核のゴミの最終処分も考えず進むこの道が、日本の未来に何をもたらすのかを考えます。

助言者 大島 堅一(龍谷大学政策学部教授)

●第3分科会(JMSアステールプラザ)

8 保育の現場で“権利”を考える

「こども誰でも通園制度」「保育士不足の深刻化」など、保育環境が大きく変化しています。“子どもの権利”“保育労働者の権利”を守るために、何が必要かを話し合います。

助言者 小尾 晴美(中央大学経済学部助教)

●第8分科会(広島国際会議場)

13 企業奉仕の行政民営化で住民利益と地方自治は守れるのか

「民間活力の活用」は企業奉仕？民営化で企業が儲かる一方、サービスの質は低下し、行政は責任を放棄。私たちのくらしと地方自治が失われる構図を学び、対抗策を考えます。

助言者 庄村 勇人(名城大学法学部教授)

●第13分科会(広島市文化交流会館)

4 公共インフラと住環境・まちづくり

政府がすすめるコンパクトシティ、広域連携と対峙する、住民の権利を守り住み続けられるまちづくりの視点で、公共交通、上下水道、都市計画、住宅問題などについて、事例を交えて議論します。

助言者 中山 徹(自治体問題研究所理事長/奈良女子大学名誉教授)

●第4分科会(JMSアステールプラザ)

9 就学後の子どもたちの居場所とそれを支える仕事

子どもたちの権利を保障するために何が必要か？学童保育・学校給食・公共施設等、就学後の子どもたちの居場所とそれを支える仕事を通して一緒に学びましょう。

助言者 和田 晋(比治山大学非常勤講師)

●第9分科会(広島国際会議場)

14 地域から進む軍事化により脅かされる憲法・平和・人権

基地強化や軍事化が地域社会に与える影響を知り、住民の声や取り組みを共有しながら、憲法・平和・人権のつながりを考える。

助言者 半田 滋(防衛ジャーナリスト)

●第14分科会(JMSアステールプラザ)

5 明日の生活が心配のない社会の実現に向けて

格差と分断を克服するために人々にとって希望ある施策の提案が重要です。すべての人の生存を保障する社会を実現し、明日の生活が心配のない希望ある社会を目指しましょう。

助言者 鈴木 静(愛媛大学法文学部教授)

●第5分科会(JMSアステールプラザ)

10 社会教育施設としての公民館の役割を考える

社会教育施設として、そして災害対応等の多面的機能をも有する公民館のあり方と、そこで重責を担っている非正規労働者の働き方を考える。

助言者 長澤 成次(千葉大学名誉教授)

●第10分科会(広島国際会議場)

15 家父長制から考える日本のジェンダー課題

女性の人権を大切にする社会の実現へ、憲法の視点から家父長制と労働分野のジェンダー課題の現状を考えてみませんか。

助言者 長久 啓太(岡山県労働者学習協会事務局)

●第15分科会(広島市文化交流会館)

現地分科会 [フィールドワーク]

① 軍都廣島の「加害」と「被害」の歴史を学ぶ

バスに乗り、専任ガイド(元中学校社会科教員)と広島城大本営跡、宇品港、陸軍墓地等を巡りながら、「加害」と「被害」の歴史を学びあいます。今の日本の「戦争する国づくり」の問題を考える場にもなります。

- 参加費 3,300円(バス代、昼食代含む) ■定員 38名(先着順)
- 開催時間 9時30分～15時00分(集合時間9時00分)
- 集合場所 JMSアステールプラザ正面

② 「広島市豪雨災害伝承館」(安佐南区)の見学、災害跡地、砂防ダムの現場で学習

バスに乗り、専任ガイド(地質学者・防災士)の説明を聞きながら、座学と災害跡地、砂防ダムの現場で学びあいます。「伝承館」建設の意義も深めるなかで、防災・減災について意見交流できればと思います。

- 参加費 3,300円(バス代、昼食代含む) ■定員 40名(先着順)
- 開催時間 9時30分～15時00分(集合時間9時00分)
- 集合場所 JMSアステールプラザ正面

〈会場案内〉

- JMSアステールプラザ 〒730-0812 広島市中区加古町4-17 TEL 082-244-8000
- 広島市文化交流会館 〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL 082-243-8881
(バス) 広島駅～広島バス 約25分 [加古町] 下車～徒歩約1分
(電車) 広島駅～広島電鉄 約20分 [市役所前駅] 下車～徒歩約10分
- 広島国際会議場 〒730-0811 広島市中区中島町1-5 TEL 082-242-7777
(バス) 広島駅～広島バス 約20分 [平和記念公園] 下車～徒歩約2分
(電車) 広島駅～広島電鉄 約15分 [袋町] 下車～徒歩約10分
(電車) 広島駅～広島電鉄 約15分 [原爆ドーム前] 下車～徒歩約10分

